

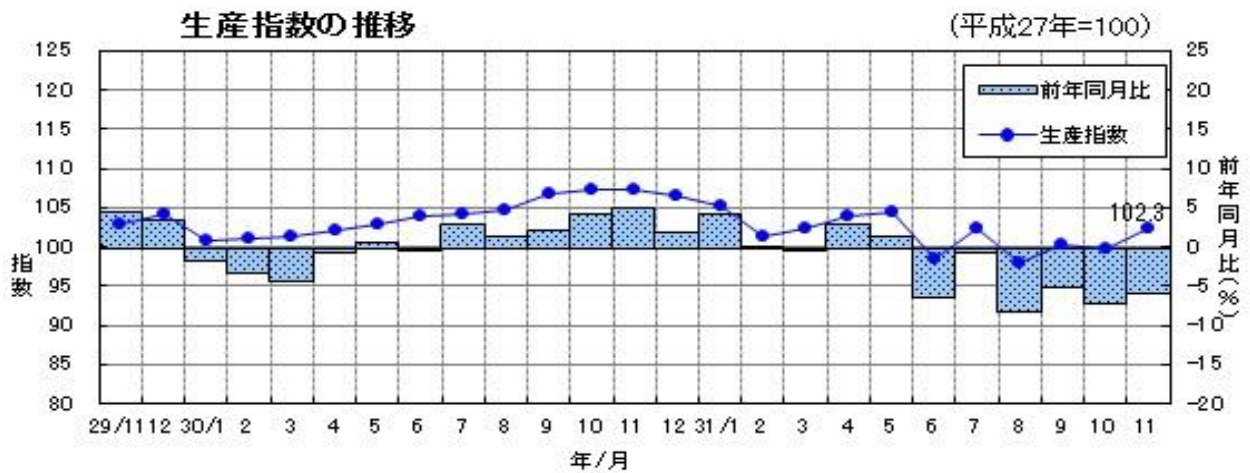


## 1 生産指数の動き

令和元年11月の鉱工業**生産指数**(季節調整済:平成27年=100)は**102.3**となり、前月比は**2.6%増**と**2か月ぶりに上昇**した。

また、**前年同月比**(原指数)は**5.8%減**と**6か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、輸送機械、電気機械、電子部品・デバイス等が上昇する一方、食料品・たばこ、汎用・生産用・業務用機械、印刷等が低下した。

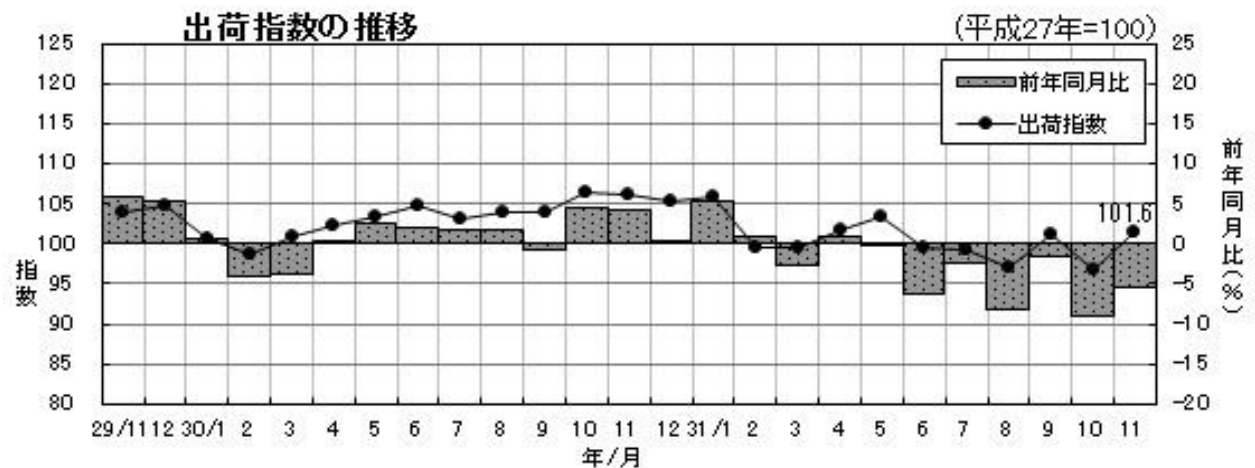


## 2 出荷指数の動き

令和元年11月の鉱工業**出荷指数**(季節調整済:平成27年=100)は**101.6**となり、前月比は**5.1%増**と**2か月ぶりに上昇**した。

また、**前年同月比**(原指数)は**5.6%減**と**7か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械、化学等が上昇する一方、電気機械、食料品・たばこ、印刷等が低下した。

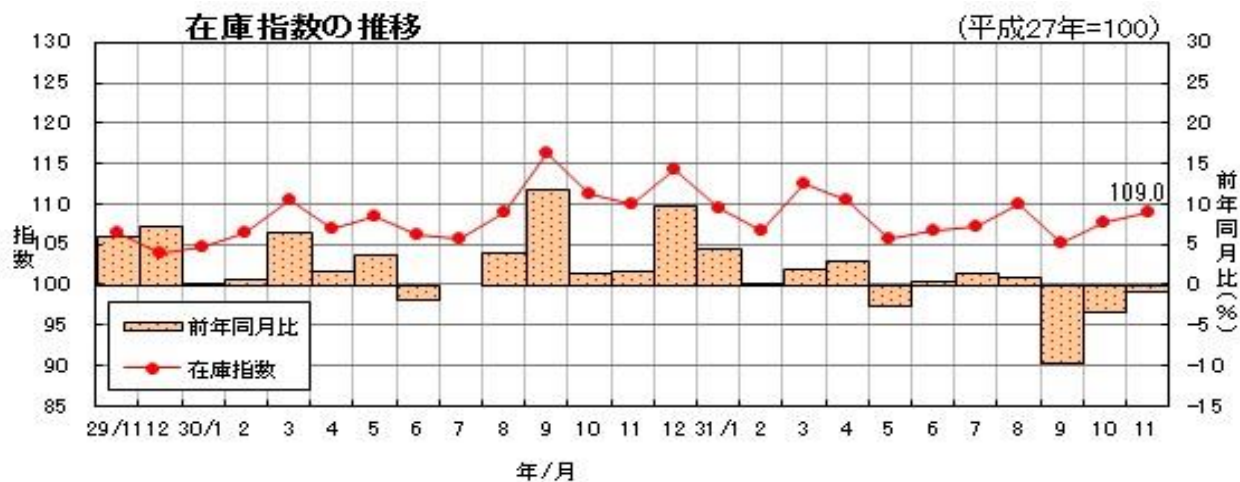


### 3 在庫指数の動き

令和元年11月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成27年=100)は109.0となり、前月比は1.3%増と2か月連続して上昇した。

また、前年同月比(原指数)は0.8%減と3か月連続して前年を下回った。

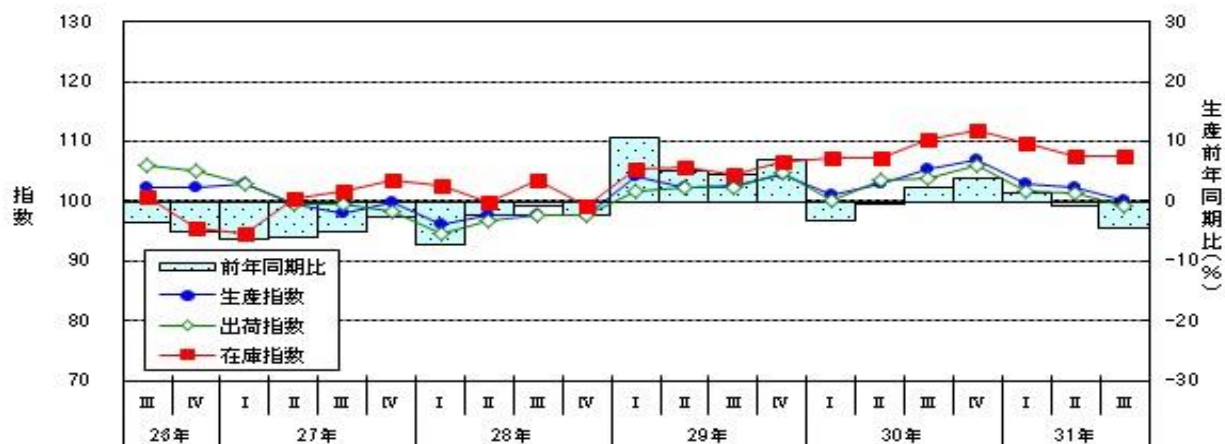
業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、汎用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、窯業・土石製品等が低下した。



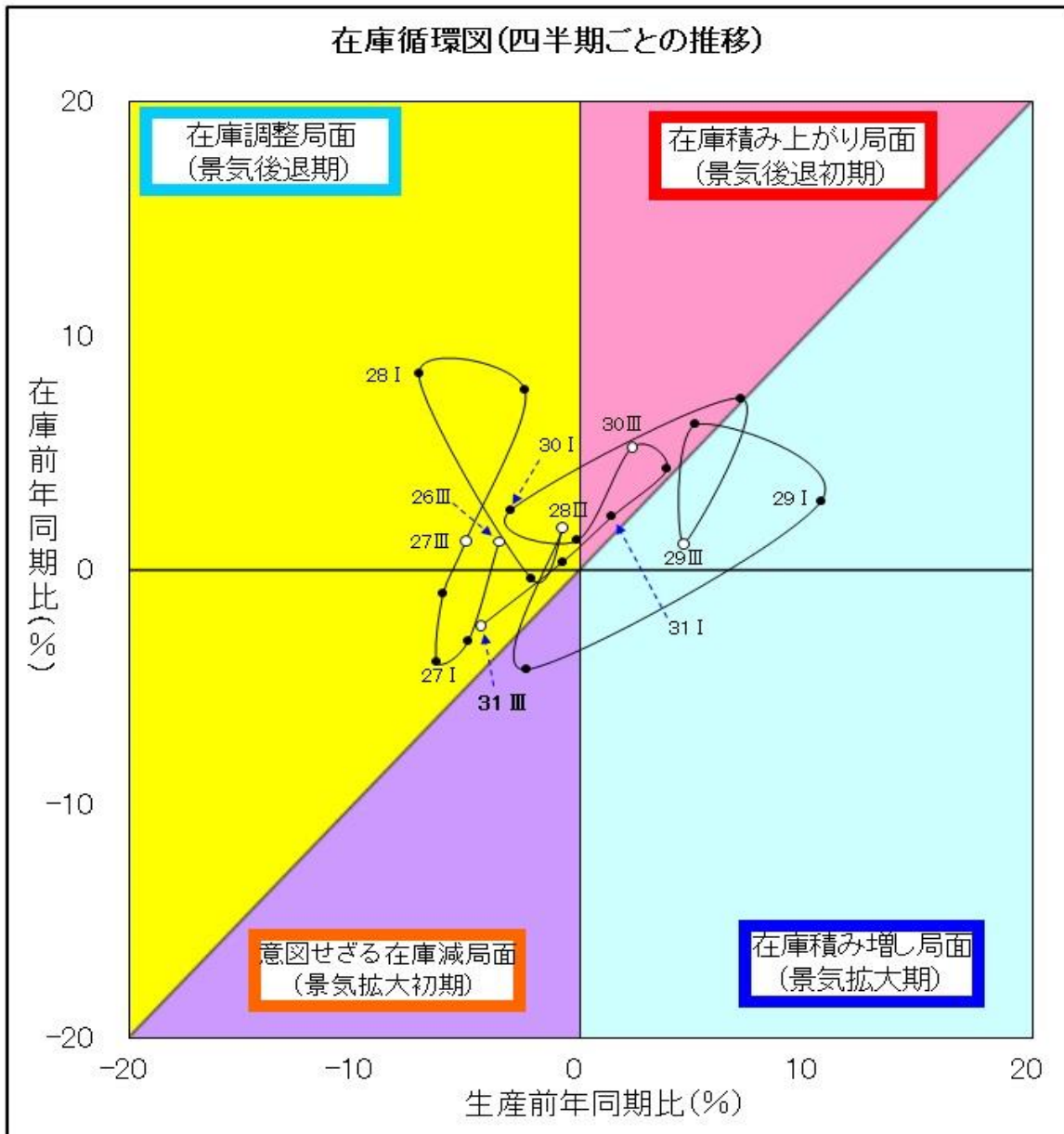
### <参考1> 四半期推移及び在庫循環図

鉱工業指数の四半期推移

(平成27年=100)



## 在庫循環



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**  
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**  
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**  
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**  
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。